



NSK 新卒採用

検索

MOTION
& CONTROL™

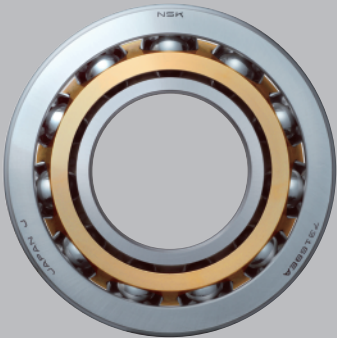
Beyond Limits,
Beyond Today
SETTING THE FUTURE
IN MOTION
Bearings
& Beyond

MOTION & CONTROL™
Beyond Limits, Beyond Today
SETTING THE FUTURE IN MOTION
Bearings & Beyond

NSKの多様な製品群



円筒ころ軸受
Cylindrical Roller Bearings



↑アンギュラ玉軸受
Angular Contact Ball Bearings

アクティブキャスタ
Active Casters ↓



電動油圧ブレーキ用ボールねじアクチュエータ
Ball Screw Actuator for Electric-Hydraulic Brakes ↑

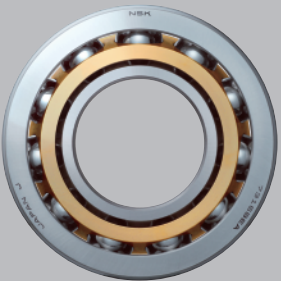


ボールねじ↑
Ball Screws

深溝玉軸受
Deep Groove Ball Bearings



スラストニードルベアリング
Needle Roller Thrust Bearings ↓



↑アンギュラ玉軸受
Angular Contact Ball Bearings

NSKリニアガイド™
NSK Linear Guides™ ↓



深溝玉軸受
Deep Groove Ball Bearings ↓

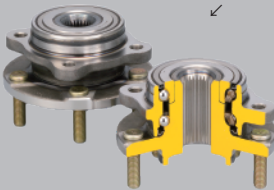


↑円筒ころ軸受
Cylindrical Roller Bearings

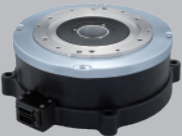


←ボールねじ
Ball Screws

ハブユニット軸受
Hub Unit Bearings



スラストニードルベアリング
Needle Roller Thrust Bearings



↑メガトルクモータ™
Megatorque Motor™



モノキャリア™ ↑
Monocarrier™ Linear Actuators

詳しく知りたい方は
コーポレートサイトをご覧ください



アクティブキャスタとは
NSK Stories



世界を動かす。 たったひとつの 部品によって。

NSKには、これまで積み重ねてきた
国内シェア No.1、世界シェア No.3 という実績があります。

今、モビリティを含めて
産業社会が大きく変化していく中、
私たちも新たな価値提供の実現に向け、
技術革新に挑戦しています。

私たちの製品が用いられる
最終製品・姿を見据えて、
より高い視座から新しい動きをつくりだす。

そして、世界中の企業と
革新的なモノづくりを創造するパートナーとして、
グローバル No.1 を目指します。

NSKは飛躍します。
たったひとつの小さな部品がつくる
無限の可能性を信じて。

CONTENTS

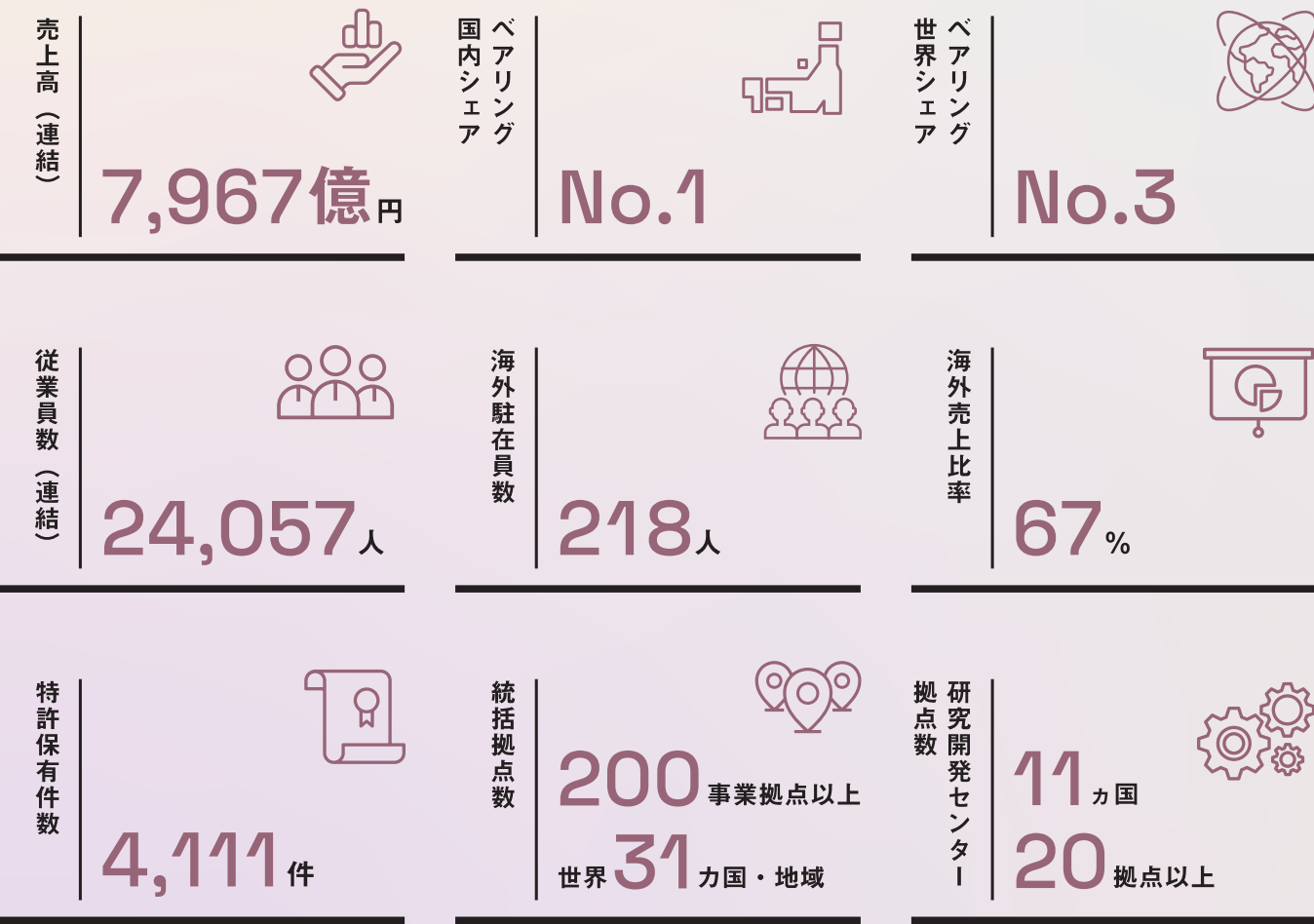
P06-07	ABOUT NSK NSKってどんな会社？
P08-09	OUR BUSINESS NSKが世界に提供する価値
P10-11	OUR ADVANTAGE NSKの強みを支える キーワード
P12-13	NSK'S JOB NSKの仕事を支える職種
P14-15	VOICES OF NSK PEOPLE 社員が語るNSKの魅力
P16-17	TRAINING SYSTEM NSKで成長できる理由
P18-19	WELFARE 長く安心して働ける環境と制度

NSKってどんな会社？

日本初のベアリングメーカーとして
国内シェア No.1、世界シェア No.3 のポジションを築き、
世界の産業を支え、リードしています。

1916年、日本初のベアリングメーカーとして誕生したNSKは、現在国内シェアNo.1、世界シェアNo.3のポジションを築いており、総合ベアリングメーカーとして、幅広い分野でのニーズに応えています。ベアリングは、見えない場所で活躍しているため目にすることはなかなかありませんが、私たちの暮らしの中で驚くほどたくさん使用されており、機械が安定して能力を発揮するために必要不可欠な部品です。世界の産業をリードし、円滑で安全な社会を築くためにNSKはあたらしい動きを生み出し続けています。

データで見る NSK (2025年3月31日時点)



関連コンテンツをWebで見る
3分でわかる、NSK



関連コンテンツをWebで見る
社長メッセージ

TOP MESSAGE

新しい価値を共創するお客様のパートナーとして、
今を超え、世の中の動きを変えていく。

NSK は長年、摩擦をコントロールする「部品」をお客様に提供し、社会の礎とも言える生産活動や移動インフラを、表からは見えないところで支えてきました。さらに昨今では、環境貢献に寄与する再生可能エネルギー分野における風力発電設備や、医療分野におけるCT装置や細胞微細操作（マニピュレーションシステム）など、NSK製品の活躍分野も広がりを見せています。

そして今、モビリティを含めた産業社会が大きく変わろうとしている中、動力伝達においてもこれまで以上に技術革新が求められています。NSKも「部品」にとどまらず、エネルギーロスの少ない動きを実現するための「システム／機構／サービス」の提案にも注力していきたいと考えています。ベアリング視点のもののづくりではなく、ベアリングが用いられる最終製品・姿を見据えて、より高い視座から新しい動きをつくりだす取り組みです。

これから入社する皆さんには、「自分の専門領域はこれだ」「ベアリングとはこういう技術だ」といった固定観念に捉われず、新しい視点や発想を取り入れることに貪欲に取り組んでいただきたいと考えています。

お客様が革新的なもののづくりにチャレンジする際、摩擦のプロとして、また一緒に新しい価値を共創するパートナーとしてそれに参画し、今を超え、世の中の動きを変え、持続可能な社会をつくっていく。

そんな想いに共感できる方にお会いできるのを楽しみにしています。



取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊



NSKビジョン2026を見る

目指す姿・行動を支える企業理念

CORPORATE PHILOSOPHY

企業理念

NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

CORPORATE MESSAGE

コーポレートメッセージ

—しなやかに、限りなく MOTION & CONTROL—

「しなやかに」は、弾力性、円滑性、粘り強さ、柔軟性、技術レベルの高さの5つを意味し、同時に企業および社員の姿勢も象徴しています。

「限りなく」は、価値を創造し続けること、成長し続けること、貢献し続けること、という企業としての目標、使命に対する姿勢を表わしています。顧客や一般の方々など広く社会に対して、NSKの在り方を示し、好感や共感を喚起する、NSKのキャッチフレーズともいうべきものです。NSKの理念や活動領域、めざす企業像を集約しています。

OUR BUSINESS

NSK が世界に提供する価値

NSKはベアリングを中心に様々な製品を通して、あらゆる産業に関わり、安全で安心、快適、そして地球にやさしい社会を支え続けています。家電製品や自動車、通信基地局から工作機械やロボットまで、NSK製品の活躍シーンをご紹介します。

たとえば
人と環境にやさしい
快適な生活に貢献

パソコンや洗濯機など、一般家庭の生活に欠かせない製品には、静かで、省エネに対応するベアリングが使われています。



冷却ファンモータにNSKの製品が使われ、省エネや信頼性向上に貢献しています。

たとえば
データセンターの
省エネと信頼性向上へ貢献

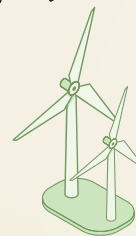


たとえば
5G基地局や



風力発電機に使われるベアリングは、高性能かつ20年以上動き続けることが要求されます。世界トップ10の風車メーカーのうち、9社でNSKの製品が採用され、カーボンニュートラルの実現に貢献しています。

たとえば
風力発電機の
安定稼働を通じて
地球環境に貢献



たとえば
自動車や鉄道など、生活に
欠かせない社会インフラに貢献

1台の自動車には約100～150個のベアリングが使われています。新幹線、飛行機、船舶などにもNSK製品が採用されており、社会インフラに貢献しています。



たとえば
人々の健康と命を支える
様々な医療機器の高性能化に貢献



X線CT装置や超音波診断装置、MRIといった医療機器は、患者のケアを向上するため、絶えず変化と進化を続けています。高速で精度の高い診断機器開発が進められているため、高性能なベアリング、ボールねじ、リニアガイドが求められています。



ヨーヨーや現代版ベーゴマなど、子どもが遊ぶおもちゃのハイスベック商品にベアリングが使われていることもあります。

たとえば
子どもたちの
楽しい日常を
支える



たとえば
日本や世界の食を支える
農業に貢献

農業に使われるトラクタの駆動部分やエンジンなどに、泥水や重荷重など厳しい条件でも対応可能なベアリングが使われています。



たとえば
日本や世界の
産業を支える
産業機器に貢献

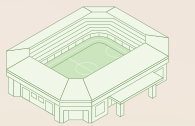


高温などの過酷な環境下で使用される鉄鋼設備や、効率化・生産性向上につながる産業用ロボットなど、工場の中でも多くのNSK製品が使われています。



たとえば
人々のにぎわいや熱狂を
生み出すスポーツ設備に貢献

スタジアムの可動観客席のイスの移動にボールねじが使われています。そして、ベアリングもその移動を支えています。



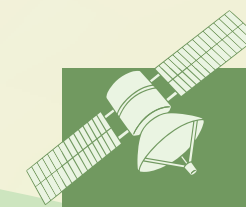
たとえば
ドローンの安定飛行や
信頼性向上に貢献

様々な分野での活用が期待されているドローンにもNSKのベアリングが使われており、安定飛行や信頼性向上に貢献しています。



貢献は宇宙まで

人工衛星や国際宇宙ステーションにもNSK製品が採用されています



NSKの強みを支えるキーワード

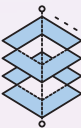
NSKは、企業理念に定める「円滑で安全な社会と地球環境の保全」を表現するため、常に新技術の追求と品質向上に力を注いできました。

それらの技術基盤が、「トライボロジー」「材料技術」「解析技術」「メカトロ技術」の4つのコアテクノロジーと、コアテクノロジーを形にする「生産技術」です。

4 コアテクノロジー + 1

4コアテクノロジーに生産技術を加えた「4コアテクノロジープラスワン (+1)」を駆使した開発活動を通して、より豊かな社会の実現と省エネルギーやCO₂排出量削減など地球環境保全を図り、持続可能な社会の発展に貢献し続けます。

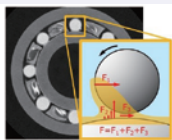
4
コ
ア
テ
ク
ノ
ロ
ジ
ー



トライボロジー

「摩擦」を理解し、コントロールする

トライボロジーは、運動しながら接する物質の間で起こる摩擦・摩耗を潤滑や材料表面で制御する、NSKの基盤技術の一つです。



材料技術

「性能」の耐久性、信頼性の徹底追及

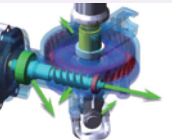
機能向上・耐久性・信頼性という常に進化を続ける要求に応えながら、コストと生産性の両立も追及しています。



解析技術

現象をサイバー空間上に再現、性能を予測

NSKの高度な解析技術は、実物での試験が難しい極限状態での性能評価を可能とし、最適設計や製品開発のスピードアップを実現しています。



メカトロ技術

技術が「人」をサポートし、便利で安全で快適な未来を

ベアリングやボールねじ、リニアガイドなどの機械要素技術と、モータ、センサ、コンピュータを組み合わせ、メカの良さをコンピュータ制御でより引き出す技術です。



+

生産技術

コアテクノロジーを形にする生産技術

4コアテクノロジーによる環境貢献、安全・安心を向上させるためには、それを形にする必要があります。また、高品質な製品を安定して生産することが必要です。NSKは、設備の知能化やIoT活用、生産システム全体の最適化に取り組み、省スペース、省エネルギー、省人化を高レベルで行うスマートファクトリー化を目指しています。



+1



関連コンテンツをWebで見る
技術力の強みと特徴を知る

製品の普及を通じて地球環境の保全を目指す



NSKは、長寿命化・小型化・摩擦の軽減を追求した環境貢献型製品の開発に努め、その製品の普及を通じて、お客様の使用段階における省エネルギーや省資源など、環境貢献の最大化を目指します。また、NSKの事業活動においても、省エネルギー・省資源・環境負荷物質削減などを推進し、環境負荷の最小化に取り組みます。



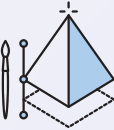
成長を支える積極的な海外戦略



NSKは、日本の製造業としては早くから海外展開を進めてきました。1948年から始まった海外輸出に続き、1970年代にはブラジル、米国、イギリスや欧州などで海外生産を開始し、1990年代には、新興国の経済発展を背景に、中国、インドネシア、タイ、インドなどに生産拠点を設立しました。さらに、グローバルでダイナミックに変化する事業環境に迅速かつ柔軟に対応するため、日本の技術開発センターを核として、米国、ドイツ、中国をはじめとするアジアなどに技術拠点を設置しています。こうした先進的な海外戦略が、NSKの強さの秘訣です。



技術革新を実現するソリューション提案力



環境対策や設備の自動化・スマート化など、社会的ニーズにより求められる技術革新をチャンスと捉えています。NSKは製品の販売だけでなく、使用環境を仮想したシステムシミュレーション技術をベースに、多様な視点・考え方・アイデアを組み合わせ、課題解決に最適なソリューション提案に繋げています。



“らしさ”を支える「ダメでいいからやってみよう」

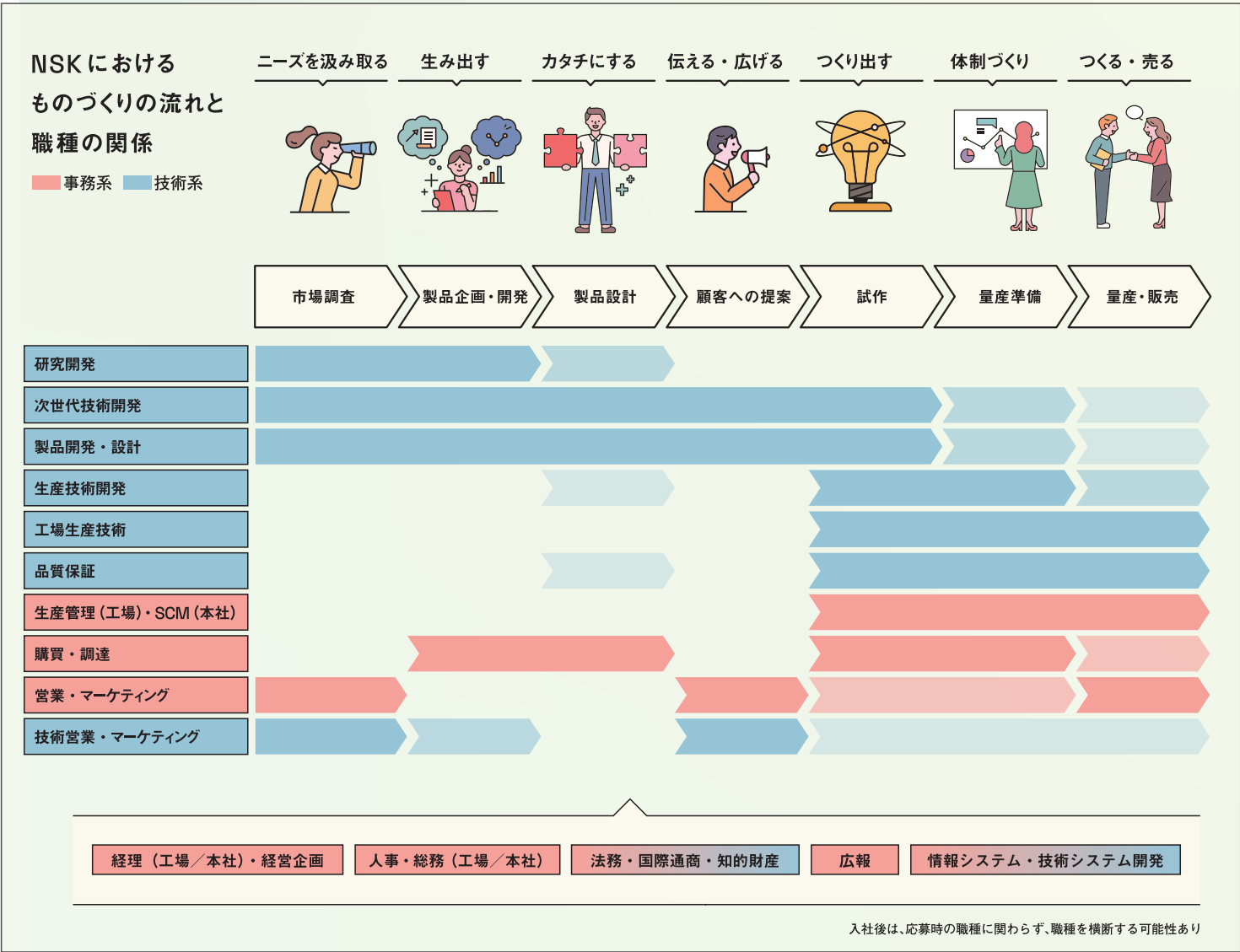


NSKが他社に負けない独自の技術を生み出し続けられる背景には、創業時から根付く「DIY（ダメでいいからやってみよう）」というチャレンジスピリットがあります。年次や経験に左右されることなく、社員の挑戦を後押しする社風が、高精度・高品質のNSKブランドを実現させ、世界中のあらゆる機械に採用されるにいたっています。



NSKの仕事を支える職種

NSKには事務系、技術系ともに幅広い職種があり、
多様な経験とスキルを獲得できるフィールドがあります。



事務系職種



営業・マーケティング

NSKの製品を全世界の顧客に提供していくため、
営業活動や市場動向の情報収集、戦略立案を行う。



生産管理(工場)・SCM(本社)

NSKの製品をスムーズに世界へ供給するため、生
産計画の立案、納期管理、出荷を担う。



購買・調達

製品の生産に必要な資材を調達し、サプライヤーと
の価格や条件の交渉、納期管理などを行う。



経理(工場／本社)・経営企画

資金の調達、運用、投資などお金の流れを管理し、
経営の意思決定に必要な会計情報を提供する。



人事・総務(工場／本社)

人材の採用、育成、人事制度、給与計算など、ヒュー
マンリソースに関わるあらゆる業務を行う。



法務・国際通商

契約書の作成・審査、通商関連問題の処理、海外企
業との提携やM&Aなど、企業法務全般を行う。



広報

顧客や株主、従業員など社内外の全てのステークホ
ルダーに対して、企業情報を発信する役割を担う。



情報システム

NSKグループのあらゆるITシステムの企画・統制・
開発・保守や、デジタル活用のサポートを担う。

技術系職種



研究開発

4コアテクノロジーをさらに深掘りし、製品への応
用へ向けた基礎研究、技術開発を行う。



次世代技術開発

NSKの技術力を駆使し、世の中に求められる次世
代の製品開発を行う。



製品開発・設計

お客様のニーズに合わせた主力製品の開発・設計、
ソリューション提案を行い、試作から量産までの技
術サポートを行う。



生産技術開発

生産効率を高めるための技術開発や、新しい製品の
加工法の開発を行う。



工場生産技術

高品質な製品を効率的かつ安全に量産するための工
程の流れや設備仕様など、生産体制を構築する。



品質保証

高品質な製品提供でお客様に満足してもらうため、
設計部門や生産部門と連携し、品質管理や品質保証
体制を構築する。



技術営業・マーケティング

NSKの技術力をお客様へPRすることはもちろん、
ニーズを的確に把握し設計部門、生産部門と連携し
てソリューションを提供する。



知的財産

基礎技術、製品技術、生産技術など、幅広い技術を
権利化し、戦略策定やリスク回避などを行う。



技術システム開発

技術部門やお客様が使用する設計支援システムの開
発を行う。



関連コンテンツをWebで見る
職種紹介



社員が語る NSK の魅力

ここでは、幅広い年代・職種の社員に NSK で働く魅力や NSK が持つ魅力を聞きました。
あなたもぜひ NSK を深く知り、新しい魅力を見つけてみてください。



関連コンテンツを Web で見る
NSK とは〇〇だ

技術力

ベアリングが身の回りの至るところに使われているので、技術で社会に貢献していることが実感できるところ。

2009年入社 研究開発 機械宇宙システム専攻

スケール感

環境貢献商品に力をいれており、社会に対してもやさしい製品をつくっている。

1994年入社 研究開発 鉄鋼冶金学専攻

技術力

ベアリング以外の分野でも高い技術力があり、特に研削技術は業界内でもトップクラスだと思います。

2014年入社 生産技術開発 工学府機械システム工学専攻

スケール感

あらゆる摩擦をコントロールして、全世界の人を笑顔にできる。

2013年入社 研究開発 工学研究科機械工学専攻

社風・環境

若手の頃から責任のある仕事を任せてもらえる。NSK は人を成長させてくれる場だと感じる。

2004年入社 生産管理・SCM 法学部私法学科

技術力

電動化が進む自動車業界に新製品を投入したり、まったく新しい分野の製品開発も進めているところ。

2017年入社 経理・経営企画 経営学部経営学科

社風・環境

出身大学や経歴に関係なく、様々な可能性に挑める会社。

2004年入社 営業・マーケティング 工学部情報通信工学科

スケール感

極めて強固な基盤があるため、安定して新たな挑戦を続けられる点。

1993年入社 購買・調達 生産システム工学専攻

社風・環境

年間休日の多さと有給休暇の取得のしやすさ。

2019年入社 営業・マーケティング 経済学部

社風・環境

何事に対しても本質を見極めようとする姿勢。

2015年入社 工場生産技術 物質工学専攻

社風・環境

困難な状況でも協力して仕事に向かっている仲間が多いこと。

2005年入社 技術営業・マーケティング 基幹工学部機械工学科

技術力

お客様から世界一と言われた「分析力」が NSK の魅力です。

2009年入社 営業・マーケティング 外国語学部言語学科

社風・環境

機械・電気系以外の人も活躍できて、分野にとらわれず新しいことにも挑戦できる。

2020年入社 工場生産技術 工学部機械工学科

スケール感

ベアリングの供給が止まれば、世界の発展は止まってしまうため、世界発展の要であること。

2021年入社 品質保証 自然科学研究科材料生産システム専攻

社風・環境

人材の豊富さをお客様から褒められたことがありました。働く人々の協力体制や人柄が良いと感じます。

1992年入社 営業・マーケティング 工学部金属工学科

技術力

簡単には真似できない領域で製品を具現化しているところ。

2003年入社 工場生産技術 精密機械システム専攻

社風・環境

社内には良いことも悪いことも正直に報告する姿勢がある。

2017年入社 製品開発・設計 理工学部精密機械工学科

技術力

半導体、風力発電、ロボット、自動車など、世界のトレンドを常に支えている会社。

2007年入社 営業・マーケティング 社会学部社会学科

社風・環境

多岐にわたる製品開発、生産技術開発とそれを支える人づくり。

2002年入社 生産技術開発 機械工学専攻

社風・環境

社員の「何かをやりたい」という意志が尊重される社風。

2005年入社 研究開発 材料工学専攻

技術力

ベアリングに依存せずに、その枠を超えて新しい製品を提案しているところ。

2002年入社 営業・マーケティング 経済学部経営学科



NSKで成長できる理由



関連コンテンツをWebで見る
キャリア支援と教育研修

01 2つの基本的な考え方

ジョブローテーションを通じて どんな変化にも適応できる人材を育てます

NSKでは、人材育成を目的に、多様な経験を通じて、幅広いスキル・ノウハウを身につけるためジョブローテーションを実施しています。ジョブローテーションを通じて、社員が1つの視点・1つの常識にとらわれることなく、変化に適応できる人材に成長してほしいと考えています。

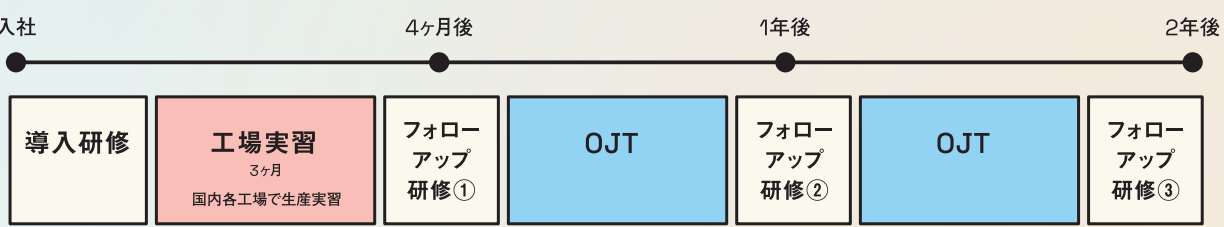


ジョブローテーションの例

「自らの意志で考え行動し、自らを高めようとする社員に対して、成長の機会と場を提供する」という人材育成の基本方針に基づき、多彩な教育・研修プログラムを設定。
自分をもっと伸ばしたいと望む社員にとって、理想的な教育環境を提供しています。

02 入社から満2年 育成責任者 & 育成担当者がフォロー

入社から2年間で育成期間と位置付け、OJT（On the Job Training）を中心に必要な知識やスキルを習得します。新入社員一人ひとりに「育成責任者」と「育成担当者」をアサインし、各職場の指導計画に基づき、育成・指導をサポートしています。また、育成期間終了直前には、3年目以降のキャリアステップについて人事部と話し合う面談の機会を設けています。



2022年度実績

キャリア形成を後押しする主な制度と取り組み

NIT
(NSK Institute of Technology)

NITは、製品の用途や取り扱い、品質管理、製造法、コスト等、総合的な技術教育を行う教育機関です。NSKの事業競争力の強化に直結する高度技術人材の育成に取り組んでいます。



NSKモノづくりセンター

「ものづくりの第一人者」として「技術・技能を伝承・継承する人材」を育成するために、基礎知識から専門技能・技術までを習得し、強い製造現場づくりを担う人材の育成を行っています。



自己啓発制度・語学学習

オンライン英会話を含むe-learningなどの自己学習ツール、TOEICの社内開催など、語学学習を支援する制度を多数用意しています。



留学派遣・各種研修制度

グローバルに活躍する人材や専門性の高い人材を育成するため、国内外の大学や大学院への留学派遣を実施しています。



自己申告制度

年に一度、将来希望する業務内容や部署、勤務地、会社に知らせるべき個人の事情などを申告する機会を設けています。



評価制度

半期ごとに業務の目標を設定し、その内容やレベル感の妥当性、結果とプロセス、自身のキャリアの方向性などを、複数回の面談を通じて上司と確認し合う、「相互確認制度」を取り入れています。



長く安心して働ける環境と制度

NSKでは、多様な価値観を持った従業員が、安心していきいきと働ける職場環境づくりを進めています。社員一人ひとりが日常の業務のみならず毎日の暮らしを健康で快適に過ごせるように、充実した福利厚生制度を設けています。



休暇休業制度

休日は完全週休2日。年次有給休暇をはじめ、勤続年数に応じて休暇を取得できるリフレッシュ休暇やボランティア休職・休暇制度など、オンオフをしっかり切り替えられる環境が整っています。

年次有給休暇・積立年休

リフレッシュ休暇

ボランティア休職・休暇制度



仕事と育児の両立について

妊娠、出産、育児など、ライフステージの変化に合わせて活用できる制度が整っています。男性の育児休業も積極的な取得を推奨しており、多くの男性社員が仕事と子育てを両立しています。

産前産後休暇

特別休暇（パートナー出産休暇、子の看護休暇）

出生時育児休業・育児休業制度

育児のための勤務時間短縮制度



仕事と介護の両立について

介護を必要とする家族を抱える社員に、最長1年間の休業を認める介護休業制度をはじめ、介護休暇や時短制度など、社員の生活をバックアップする制度が整っています。

介護休業制度

介護休暇

介護のための勤務時間短縮制度



その他の支援制度

フレックスタイム勤務制度やリモートワーク勤務制度を導入し、柔軟な働き方を支援しています。また、全国の事業所周辺に、社宅（家族同居／単身者）を用意しています。

フレックスタイム勤務制度*

裁量労働制度*

リモートワーク勤務制度*

社宅（家族同居／単身者）の用意

*一部の職場での導入



環境と制度に関する関連データ（2024年度）

平均勤続年数

16.7 年

平均有給休暇取得率

96.5 %
(18.9日／年)

男性の育児休業取得率

89.2 %

育児休業取得後復帰率

99.1 %
(男女)



関連コンテンツをWebで見る
待遇・福利厚生

